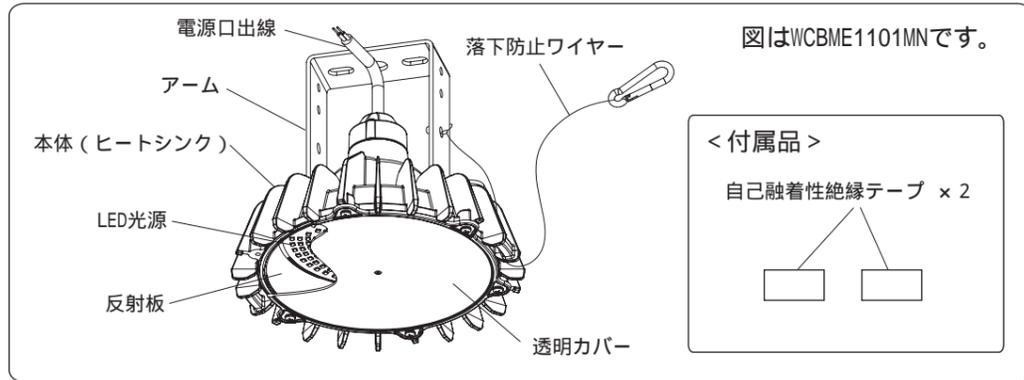


2. 各部の名前



3. 取り付けかた

1. 取り付け前に確認する。

LEDランプ質量(表1)に十分耐える強度のある水平な天井面・構造物へ取り付けてください。

2. LEDランプを取り付ける。

図1 取付ボルト施工寸法

図2 LEDランプの取り付け

図3 落下防止ワイヤーの取り付け

図4 配線接続

注意 適合点灯装置を使用する。(Use a suitable lighting fixture.)

閉端子による接続

芯線が露出しないように圧着してください。(Crimp so that the core wire does not protrude.)

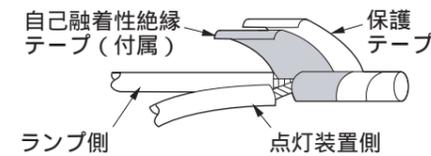
注意

手より結線は絶対にしないでください。接触不良となり、発火の原因となります。(Do not connect by hand. This causes contact failure and is a cause of fire.)

差込形コネクタによる接続

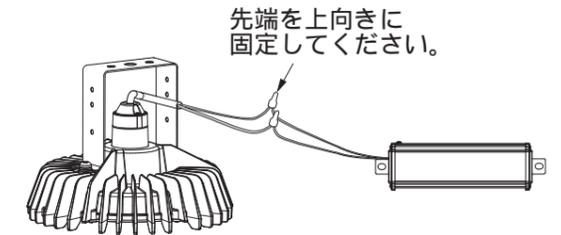
3. 配線接続後の処理

電源線接続部は付属の自己融着性絶縁テープを巻いて防水絶縁処理をし保護テープを巻いてください。防水絶縁処理は接続部のみでなく、シール(外被)部も含めて行ってください。



注意 接続・絶縁処理に不備があると火災・感電の原因となります。(If there is a problem with connection/insulation processing, it can cause fire/electrocution.)

湿気が入り込まないように、閉端子や差込形コネクタの先端を上向きとなるように固定してください。



4. 取り付け完了後、絶縁抵抗を確認してください。

5. 正常に点灯するか確認してください。

お客様へ この取扱説明書は必ず保管してください。

このたびは日立LEDランプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

1. 安全上のご注意 (必ずお守りください)

警告

- LEDランプを改造しない。火災・感電・落下による死亡やけがの原因となります。LEDランプのすきまや放熱穴に、金属類を差し込まない。火災・感電の原因となります。LEDランプを布や紙など燃えやすいものでおったり、かぶせたりして使用しない。火災の原因となります。防爆形ではありません。ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんなど、引火する可能性のある場所では使用しない。火災・爆発の原因となります。
- 煙が出たり、異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切る。火災・感電の原因となります。お手入れの際は必ず電源を切る。感電の原因となります。

注意

- LEDランプの近くで温度の高くなるもの(ストーブなど)を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない。故障・火災の原因となります。LEDランプの光源を直視しない。目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。透明カバーを破損したままで使用しない。性能を保てないことや透明カバーの落下によるけがの原因となります。油類、薬品などが付着する場所では使用しない。樹脂などの劣化により、LEDランプ故障の原因となります。風が直接あたる場所では使用しない。LEDランプ破損によるけが・過熱の原因となります。湿度の高い場所、塩素を使用している屋内プールでは使用しない。LEDランプ破損の原因となります。腐食性ガス・可燃性ガスの生じる場所では使用しない。LEDランプ破損の原因となります。調光機能の付いた照明器具および回路は使用しない。不点灯・短寿命の原因となります。
- 冬季など、長時間使用しない施設では、周辺の湿気により絶縁が低下し、漏電による感電の原因となることがあります。湿気対策として定期的に通電する。LEDランプは必ず専用の点灯装置と組み合わせて使用する。商用電源に直接接続したり、HIDランプ用安定器で使用した場合、LEDランプの破損・発煙・点灯回路損傷の原因となります。明るく安全に使用するために、定期的に清掃・点検をする。3年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施し、不具合がある場合は交換する。照明器具には寿命があります。LEDランプの光源は寿命が来ても点灯し続けますが、設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので、点検・交換する。